

- M, Saruta T, Arakawa K, Nakashima M, Origasa H, Hosoda S, Kawai C.: Long-term effects of nifedipine retard vs ACE inhibitors in hypertension with coronary artery disease: final reports of J-MIC(B). *Circulation Journal* 65(Suppl I), 357, 2002. 第66回日本循環器学会, 札幌, 4月24~26日, 2002.
- 3) Muto T, Koyama Y, Hamano K, Yasutomi M, Takahashi T, Kodaira S, Kato T, Kameoka S, Ogawa N, for the Colorectal Cancer Chemotherapy Study Group of Japan (折笠秀樹はStatisticianとして参画): Evaluation of the adjuvant chemotherapy of 5-FU and MC for curatively resected colorectal cancer in Japan by RCT. 38th Annual Meeting of American Society of Clinical Oncology (ASCO), Orland, USA, May 18-21, 2002. (Proceedings of American Society of Clinical Oncology (ASCO), 21:114, 2002.)
- 4) Matsumura M, Origasa H, Morioka T, Matsukura T, Kawano M, Nakashima A, Muramoto H, Sato T, Tofuku Y, Nomura H.: Negative correlation between hematocrit levels and quality of sexual life score in Japanese dialysis patients. 26th International Congress of Internal Medicine, Kyoto, May 26-30, 2002.
- 5) 折笠秀樹: 系統的レビューとメタアナリシスの実際. (教育講演): 第37回日本循環器管理研究協議会総会, 東京, 5月30~31日, 2002.
- 6) 折笠秀樹: QOLの測定について. (特別講演): 第7回ファーマコエコノミクス研究会, 東京, 6月11日, 2002.
- 7) 鈴鴨よしみ, 折笠秀樹: 食事に関するQOL尺度の開発. 第70回日本統計学会, 東京, 9月8~10日, 2002. (日本統計学会誌, 2002;32(3):360.)
- 8) 折笠秀樹: 脳循環代謝改善薬の評価—統計学的手法の適用. 第14回関東脳卒中研究会, 東京, 11月21日, 2002.
- 9) Origasa H, Owa M, Morioka T, Zhu Y.: Performance of the Japanese MLHFQ for heart failure. 9th Annual Conference of the International Society for Quality of Life, Oct 30-Nov2, Orland, 2002. (Quality of life research. 11(7):663, 2002.)
- 10) Uebaba K, Origasa H, Morioka T, Feng-Hao XU, Yimit D, Izumi H, Yamaguchi N.: Relationship between QOL and immune function. 9th Annual Conference of the International Society for Quality of Life, Oct.30-Nov.2, Orland, 2002. (Quality of life research. 11(7):687, 2002.)
- 11) Origasa H, Zhu Y, Matsukura T, Terasawa K.: Chinese investigators have mostly contributed to making an evidence of oriental traditional medicine. China-Japan Medical Conference 2002, Beijing, Nov.3-6, 2002.
- 12) 折笠秀樹, 朱燕波, 松倉知晴, 森岡斗志尚, 寺澤捷年: 漢方薬に関するランダム化比較試験の文献調査. 第23回日本臨床薬理学会, 東京, 12月10~11日, 2002.
- 13) 折笠秀樹, 大和眞史, 朱燕波, 森岡斗志尚, 中野武: 心不全QOLの郵送調査における非回答者の特徴. 第23回日本臨床薬理学会, 東京, 12月10~11日, 2002.
- ◆ その他
- 1) 折笠秀樹: メタアナリシスの実際. 厚生科学研究・川合班班会議, 東京, 2002. 3. 16.
- 2) 折笠秀樹: 臨床試験の各段階での統計のポイント. 厚生労働省技術研修会, 東京, 2002. 5. 20.
- 3) 折笠秀樹: 糖尿病診療ガイドラインの使い方. 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドラインに関するシンポジウム, 東京, 2002. 7. 14.
- 4) 折笠秀樹: 試験計画法と統計手法. 日本看護協会CRC研修会, 東京, 2002. 7. 22.
- 5) 折笠秀樹, 角間辰之 (対談): 臨床統計専門家の育成が急務. *Japan Medicine* 2002;9月27日号:16-17.

英 語

教 授 藤 本 正 文
 助 教 授 濱 西 和 子
 助 教 授 松 倉 茂
 外国人教師 エリザベス・ホルンダース

◆ 研究概要

(藤本) 英語, 米文学
 (浜西) 英文学, 仏文学
 (松倉) 認知言語学
 (ホルンダース) Teaching of English to Speakers of Other Languages. Conversation Analysis.

◆ 原 著

- 1) 松倉 茂：数量品詞の作用域と特定性，富山医科薬科大学一般教育紀要. 27:17-20, 2002.
- 2) 松倉 茂：透明性について，富山医科薬科大学一般教育紀要. 27:21-22, 2002.
- 3) 松倉 茂：言語－認識と心の観点から，富山医科薬科大学一般教育紀要. 28:25-26, 2002.
- 4) 松倉 茂：概念構造について，富山医科薬科大学一般教育紀要. 28:27-30, 2002.
- 5) Elizabeth Hollanders, "The Initial Stages of an Extensive Reading Programe at TM PU", The Journal of Liberal Arts and Sciences, 28:31-42, 2002.

◆ 学会発表

- 1) 濱西和子：communicativeな英語教育重視傾向に対して，いま問われる英語講読の重要性，第5回日本医学英語教育学会，2002，8，岡山.

独 語

助 教 授 名 執 基 樹

◆ 研究概要

社会システム“文学”の分析のための調査手法と理論の研究

◆ 原 著

- 1) 名執基樹：システムと構造－文学システムの経験的調査を目指して－. 金沢大学独文学研究会独文研究室報, 17:33-48 (大瀧敏夫先生退官記念論文集).

日 本 語 ・ 日 本 事 情

助 教 授 鎌 田 倫 子

◆ 研究概要

日本語文法を中心とする日本語学，日本語教育方法の研究と異文化理解教育

- 1) 日本語文法における名詞化構造の主要部ノとコトの選択規則の研究.
- 2) 電子掲示板による日本語教育方法の研究.

◆ 著 書

- 1) 鎌田倫子：ノとコトの選択－統語特徴と構造から－，学位論文. 神田外語大学大学院，2002.

◆ 原 著

- 1) 鎌田倫子：2001年留学生相談室活動報告，富山

医科薬科大学一般教育研究紀要第27号，2002. 3.

- 2) 鎌田倫子：ノとコトの選択－統語特徴と構造から－，言語科学研究特別号2，神田外語大学大学院紀要.

◆ 学会発表

- 1) 鎌田倫子・山崎けい子：ホームページを利用した日本語学習－意見交換からのネットワーク作りを目指して－，CASTEL/J 2002, 2002. 7, San Diego, USA.
- 2) 鎌田倫子・山崎けい子：電子掲示板による日本語教育の可能性，日本語教育方法研究会，2002. 9. 前橋.
- 3) 山崎けい子・鎌田倫子：電子掲示板書き込みの日本語作文教育への可能性－インターアクションとしての作文－，日本語教育学会秋季大会，2002. 10.

◆ その他

- 1) 神田外語大学大学院より，博士（言語学）の学位を授与される. 2002. 3.

保 健 体 育

教 授 小 野 寺 孝 一

◆ 概要研究

運動処方における強度指標としてのRPE及び生活習慣病予防のための運動処方について

◆ 学会報告

- 1) 三辺忠雄，垣内孝子，泉 一郎，永田 晟，小野寺孝一：生活改善コースの実践効果（第2報）. 第57回日本体力医学会，2002，9，高知.

保 健 福 祉 学

助 教 授 岩 岡 妍 典

◆ 研究概要

虚弱高齢者・障害児の機能的自立と身体活動に関する研究

◆ 学会報告

- 1) 岩岡研典，小野寺孝一：施設居住高齢者の日常生活自立度と歩行能力. 第14回日本体力医学会北陸地方会，2002，4，富山.
- 2) 岩岡研典，伊藤秀一：施設利用高齢障害者の日常生活自立度と運動能力. 医療体育研究会/アジア障害者体育・スポーツ学会第4回合同大会，2002，